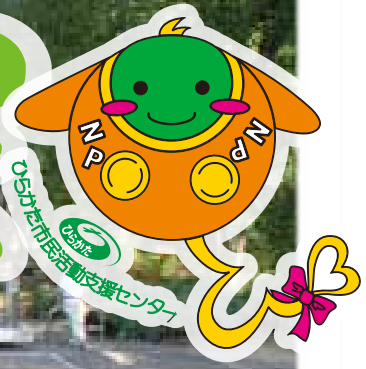


ひらんぼ



ひらかたNPOフェスタ2014



ひらかた NPO フェスタ 2014

2014年9月21日(日)・岡東中央公園・枚方市市民会館ほか



今年度のNPOフェスタが、気持ちよい秋晴れの中、盛大に開催されました。「国際ビレッジ」「福祉ストリート」「子育て祭」「文化歴史ルーム」の4つの分野で出展され、それぞれ興味・関心のあるブースに集まった来場者で交流が生まれたりと賑わっていました。

今回は、留学生を始め、学生の参加も多く、四千人を超える来場者で活気ある雰囲気となりました。

今回、学校の紹介でひらかたNPOフェスタボランティア活動に参加させていただきまして、本当にうれしかったです。少しでも枚方市民の方々の役に立てたら幸いです。

活動の内容は、事前準備の手伝いのほかに、来場者への案内や食器分類駐車場の管理などでした。いろいろなことに参加して、お年寄りや障害をもった子たち、地域の方々とたくさんふれ合いました。その中に、小さいながらも思いやりのある子がたくさんいることに気がつきました。また食器分類によって日本の方々が環境保護を重視することもわかりました。

これからもこの経験を活かして、もっと身近なところから大きな世界までボランティア活動を見つけ、参加し続けていこうと思います。

(大阪国際大学・留学生別科・向敏潔)



ボランティア参加より

今年、NPOフェスタで、留学生として初めてのボランティアに参加しました。その日は一日中いろいろと体験しました。中でも、忘れがたいことが一つあり、受付を務める時、一緒にやっていた一人のおじさんがいました。その方は年を取っていたにもかかわらず、元氣いっぱい自分の仕事に対して責任を持ってがんばっていただけでなく、慣れてなかった私にも、親しく接してくれました。

私はこんな盛大なイベントに参加できて感動してならなかったです。なぜかという、イベントは、とても盛り上がった雰囲気だったし、親切な皆さんに困ったことなど教えてもらえて、すごくありがたかったからです。もし何かお役に立てたとしたら、よかったですと思います。

(大阪国際大学・留学生別科・林碧麗)





市民活動 にんげん ウオッチング

中川 雄二さん

(インタビュアー／文・西川 史朗)

不登校、ひきこもり、うつ、オーバードーズ、リストカット。障害や生きづらさを抱え、苦しみ、自立していけず、社会に放置され続ける若者たち。約20年務めた中学校教諭の職を辞し、そんな彼らのための居場所として11年前にフリースクール「みんなでつくる学校とれぶりんか」を立ち上げた、中川雄二さんにお話を伺いました。

無口な少年で作家志望

1954年、鹿児島出身の両親のもと神戸に生まれました。父は戦時中に兵士として大陸に送られ、凄惨な体験をしたようです。PTSD(心的外傷後ストレス障害)によるものだと思いますが、極端に表情が乏しく、笑顔をつくることもできませんでした。また、戦後10年以上が経った後でも、夜中になされ「八路軍がやって来る!!」と叫ぶことがありました。晩年の父に「戦時中、大陸であなたに一体何があつたんだ」と聞いたことがあります。しかし彼は口をつぐみ、最後まで決して戦争体験を語ろうとはしませんでした。私はとにかく無口な子どもでした。あまりにしゃべらないので、小学校の担任は私に障害があると思ったくらいです。読書ばかりしていた私は、将来は作家になりたいと思い始めました。小説を書くには様々な経験が必要だと考え、高校卒業後は進学も



せず定職にもつかず、放浪するような生活を4年間送りました。自宅近くの図書館には、洋書が豊富に揃っていました。英語が得意だったこともあり、アーネスト・ヘミングウェイなどの作品を原書で読むため、そこによく通ったものです。22歳で神戸市外大に入學し、英米語を専攻。学業に専念することなく、相変わらずの生活ぶり、友人宅を転々としてたり劇団に顔を出したり。しかし、その頃のさまざまな経験が現在のとれぶりんかの運営にも活かされていると思います。

教育との出会い

2度の休学を経て大学には結局7年在籍し、29歳で卒業。そんなとき大阪のある教職員組合が出版した、教育実践のための研究本を手にしました。そこには、家庭の事情などさまざまな問題を抱えた生徒と教師が奮闘する、教育現場の事例が、いくつも紹介されていました。これに興



味を持ち、その年に教員採用試験を受験して英語教諭になりました。最初に赴任した中学校で、障害を持つ在校生と、同じく障害を持つ卒業生が交わり、生活や進路など、さまざまな問題を話し合う相互支援の場所「しるべサークル」を1983年に立ち上げました。

これが現在の「とれぶりんか」の原型となります。しかし活動を続けているうちに、学校現場の限界と、学校・家庭・地域・行政を横断的につなぐ必要性を痛感したため47歳で退職。2年後の2003年に「みんなでつくる学校とれぶりんか」を設立し、現在に至ります。

共に支え合う関係づくり

教諭時代を含め、この活動を続けてきて最も強く感じることは、様々な問題を抱えた者同士が支え合う場の大切さです。支援する立場の者が、支援を必要とする者を一方的に支援すること、もちろん必要です。しかし支援を必要とする者同士が、時には支援する側に、時には支援される側になって、共に支え合う場が驚く程の力を生み出すことがあります。私が30年に渡りやってきたことは、そんな場を作り、彼らをつなぐことです。そして、そう、私も彼らに支えられてきたのです。



★みんなでつくる学校 とれぶりんか
TEL : 090-4289-5317
ブログ : <http://treblinka.seesaa.net/>
E mail : treblinka@love.dugong.net

団体の活動報告

社会福祉法人 大阪水上隣保館 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた



子育て支援の港でありたい
 暗闇の中、パッと光る蝶。アツという声が、観客のママや子どもからあがります。パネルシアターを演ずるのは仏教大学教授高橋司先生。大学の先生とは思えない身軽さで、歌う、踊る手の先から、手品のように色々の絵がパネルの上にも生まれます。



枚方市招提南町 2-5 0-1
 Tel & Fax 072 (850) 4400
 事務所：平日10:00~17:00
 (土) 10:00~15:00
 (水・日祝はお休み)

(高橋 佳子)

内。午前中には子育てを支援する人たちへのパネルシアター講座も。社会福祉で有名な大阪水上隣保館が、枚方でファミリーポートひらかたをオープンして10年。親子の遊び場「みなと」、子育て短期支援のショートステイやトワイライトステイ、育児中のママの講座や子育て相談、さらに子育てサポーターの育成と紹介など、多彩に活躍。利用者はもうすぐ10万人を超えます。平成25年には、サブリー村野で枚方市受託事業の子育て広場もスタート、私達にもおなじみです。

地域もお母さんも変化はげしいこの頃。子育てが孤立しないように、各世代の皆さんが集まって、育児に疲れたり困った人を「おかえりなさい」と迎え、元気になったら「いってらっしゃい」と送り出す、そんな楽しい子育ての「港」でありたいと願っておられます。

いきいきアンチエイジング！ ストレッチでしなやかな体づくり



サブリー村野で開かれた「いきいきアンチエイジング！ ストレッチでしなやかな体づくり」の教室に参加してきました。

講師をされた、YBC(笑)ースポーツ応援クラブーは、元々バスケット好きの人が集まって結成されましたが、現在では、スポーツの場の提供を目的にいろんな活動を行っています。

今日の参加者は、まず最初に血圧を測り、ストレッチの開始。



ゆっくりと手と足を伸ばして肩や腰を回していきます。呼吸も意識しながらじっくりと身体をほぐし、途中からゴムのチューブを使って徐々に負荷を高めていきます。



ストレッチだけでなく、日頃使っていない筋肉を刺激することで結構ハードですが、気持ちは逆にリラックスして、思わず眠ってしまいそうになります。終わってみると身体が軽くなったような気がして肩や首筋のコリもなくなっていました。心までもストレッチできたような不思議な体験でした。(向井 範雄)

ひらヨガ 6/8,9/14,10/12

第8回やさしさ、ふれあいのまちづくり講座として開催された「ひらヨガ」。

今回、(特活)日本パーソナルセフピー協会大阪支部 YBC(笑)ースポーツ応援クラブ、ビジョンヨガ枚方の共催で、さまざまなアプローチのヨガが行われました。淀川の河川敷で、日差しがまぶしい中、気持ちよい風をつけながら、初めての方も含め「感じるヨガ」を満喫していました。

来年度も予定していますので楽しみにしてください。



枚方市NPO活動応援基金の平成26年度登録団体 決定!

この基金は個人や企業など皆様からの寄付を財源とし、枚方市内のNPO法人を支援し補助する制度です。登録団体となったNPO法人は、補助を希望する事業の申請が可能となります。

皆様からの寄付を随時募集中です。寄付額に上限

・下限はありません。団体や活動分野を指定して寄付することもできます。寄付した場合、ふるさと納税と同様の税優遇制度もあります。

寄付の申込・問合せは、枚方市役所市民活動課 (072・841・1221(代)か、当センター (072・805・3537)まで。

【保健・医療・福祉】

- ・遊びりテーションわくわく枚方
- ・関西医科大学外科臨床研究推進機構 KMU surgeons
- ・北大阪後見制度支援センター
- ・北河内ボランティアセンター
- ・コーチズ大阪
- ・さつきの里
- ・じゅえる
- ・ひまわり七宝
- ・福祉サービス評価WACCH
- ・夢桜ホーム

【学術・文化・芸術】

- ・大阪視覚障害ゴルフアーツ協会

【まちづくり】

- ・自然災害・地域防災対策支援センター
- ・すがはらひがし
- ・ひらかたし水道屋サービス
- ・ひらかた緑のNPO

【子ども・男女共同参画】

- ・子育てネットくるみの会
- ・ふれあいネットひらかた

【その他】

- ・しまなみ
- ・つばさの会大阪

※特定非営利活動法人(NPO法人)は省略。



ひまフロって?

「ひまフロ」とは、ひらかたの地域社会問題解決とより良き枚方まちづくりを目指した「ひらかたまちづくりプロジェクト」のことです。枚方のまちを良くしたいと考える多様な人たちが集い、お互いの得手不得手を活かし、補うことで生まれる新たなビジネスマッチング創生をお手伝いします。

去る10月15日には、ひまフロ本会議が開催され、マッチングの事例紹介や、地域で事業展開している企業やNPOの課題についてグループディスカッションが行われました。17の企業とNPO等の団体、25人の参加で、1時間半の時間では足りないくらいに、積極的な意見交換や提案で盛り上がりしました。



サプリ村野 市民活動ネットワークルーム プチ講座

ネットワークルーム おはなし会



市民活動ネットワークルームのプチ講座として、11月17日「おはなし会」が開催されました。

0歳から2歳までの子どもとお母さんたちが集まり、紙芝居や絵本の読み聞かせを楽しみました。

初めてサプリ村野にいられたお母さんの中には、早速、図書館分室に行つて、貸出カードを作つた方もおられたり、また、お互いに持ってきた絵本を見せ合つたりといった交流も生まれてました。



サプリ村野内にある市民活動ネットワークルームは、市民活動を応援するための総合情報センターです。

枚方市内の情報を閲覧できるパソコンの設置、市民活動・ボランティア等の図書の出借、枚方市内のイベントの案内や募集のチラシやポスターの設置、市民活動団体を紹介したファイルの閲覧など、どなたでもご利用いただけます。ぜひご利用ください。

★利用時間：9：30～20：30
(日曜・第4火曜は17：30まで)

★休所日：毎週水曜・年末年始

★問合せ先：(特活)ひらかた市民活動支援センター
TEL：072・805・3537

NPO講座・マネジメント講座 開催



NPOを学ぶ講座

今年度は、5月30日と10月31日の2回開催しました。講師は、当センターの理事で、(特活)のあつく自然学校の代表の高井啓太郎さん。豊富な経験から、NPOやNPO法人だけにとどまらず、さまざまな法人や団体の可能性について話される内容は、これから団体を作っていく方にとって、とても参考になっているようでした。

特定非営利活動促進法が施行されてから、十五年を越えた現在、多様な形の市民活動のあり方を求めている方が多くなってきたのを実感した一年でした。



助成金・補助金獲得講座

なぜ、いつも助成金が獲れないのか？助成金とは？など、いろいろな疑問をもつた方が集まった「審査員経験者に聞く！助成金・補助金獲得講座」。9月29日、龍谷大学政策学部准教授・的場信敬さんを講師にお迎えし開催しました。

具体例を用いた申請書作成時のポイントや、初心者にもわかりやすい実践的な説明が多くわかりやすかったと好評でした。

また、市民による地域貢献に関する話も非常に興味深く、助成金をどのように活動に活かすのかという点でも学びの多い講座でした。





今、教育は平等だと思つ。家庭、これがわからない、密室だから。役割分担と
いいながら、どちらかが主導権を握り、
一方はひたすら忍耐かもしれない。
社会、松枝さんの話。女偏の漢字は、
三百あまり、男偏の漢字は10字位。これ
は漢字は男が作ったから。自分のことは

女性としては・・・

落語家・笑福亭松枝さんを迎え、枚方市男女共同参画社会づくり支援講座が行われました。「男女共同」と一見小難しいテーマを落語を交えて、楽しく講演していただきました。今回、参加した取材者が、男女それぞれの立場でレポートしました。

落語で学ぶ男女共同△(さんかく)で□(しかく)じゃない○(まる)もある(い)社会



棚にあげ、嫌な(この字も女偏)ことは全部女の特性にした。ウーン、なるほど女性への偏見の歴史は長い。
世の女性の皆さん、もしあなたがハラメントを受けたら、堂々と戦おうではありませんか?
聴衆6割くらい男性だったのは「落語」にひかれたらしい。松枝さんは男女共同参画の勉強もし、自分の家庭のことも反省。出席者の男性諸君、ぜひご自分の家庭のことも考えてみてくださいね。

(高橋 佳子)



男の本音は・・・

松枝さんのお話を聞いて、世の中は男性上位の国が多いですが、とりわけ日本は遅れているなあと実感しました。

古典落語も聞かせてもらいましたが、内容は飲んだくれの旦那を支える妻のお話です。旦那は心では妻に感謝していますが、口には出せません。観客は年配の女性が多かったので、妻に感情移入して頷いていました。松枝さんによると、最近の若い女性

はそんな旦那とはさっさと別れたらいいというそつです。われわれ男性からみたら男性上位の社会は居心地がいいので難しいですね…。
また「男子厨房に入るべからず」の世代は男尊女卑が身体に染みついているので、偏見のない若い世代の力がぜひ必要だと初老の男性は思いました。お後がよろしいようで。

(向井 範雄)



● 枚方市男女共同参画社会づくり支援講座 ●

パパもママも
じいじもばあばも来てね!
世代・性別を超えて楽しむ



愛ラブにんげん フェスタ!

2015年2月15日(日)
メセナひらかた会館

2015年2月には、「愛ラブにんげんフェスタ」が開催されます。さまざまなNPOが提案する「男女共同参画」を見て聞いて体験してください。

詳細は、2015年1月以降に、ひらかた市民活動支援センターのホームページ等に掲載し、2月には、広報ひらかたで掲載予定なので、ご確認ください。

2月はサフリ村野にレッツGO!

2/21

サフリ村野大学 来て見て学べる サフリ村野



日時：2015年2月21日(土)
 1時限目 11:00~12:00
 2時限目 12:50~13:50
 3時限目 14:00~15:00
 場所：サフリ村野

2/22

ひらかた防災学校 学んで守ろう わが身わがまち

阪神・淡路大震災から20年、東日本大震災から4年、未だ大変な思いをされている被災地に思いを寄せつつ、南海トラフ大地震に備えて、自分たちのまち(枚方)の防災について考えてみませんか?

防災や減災の備えを確認し、災害時の対応などを体験する防災イベントです。

日時：2015年2月22日(日)10:00~16:00

場所：サフリ村野

キーワード：被災地支援、防災・減災、避難所運営

時間割：1時限「避難所シミュレーション体験」

2時限「NPOによる防災体験プログラム」

3時限「非常持出袋に入れるものは？」

※その他、被災地支援の物産展、展示、炊き出し風模擬店など、盛りだくさんです。

2015年1月中旬から、体験プログラムの事前募集が始まります。詳しくは、当センターのホームページ、Facebookでお知らせします。



編集後記

澤村さん ありがとう!



2010年から2013年まで4年間、ひらかたNPOフェスタの実行委員長を務めていただいた澤村一男さんが、2014年9月3日に永眠されました。ボーイスカウトの活動の傍ら、NPOフェスタを始め、さまざまな事業にご尽力いただきました。

澤村さんが撒いた種は、確実に育っていますので、今後はその意思を受け継いで、団体同士のつながりをさらに広げ、また活動をより多くの方にPRできるように取り組んでいきたいと思っております。

ご冥福をお祈りします。(編集者・S)

ふれあいファンド



11/27の表彰の様子

今年度も「地域貢献NPOサポートファンド(通称ふれあいファンド)」の募集と選考が行われました。
 その結果、「保育ボランティアの会 ひまわりママ」が、企画提案型で選ばれました。

企画提案型

* 保育ボランティアの会 ひまわりママ

本当にいい絵本を親子に届ける「ちいさな絵本shop ブックプランター」開始事業
 絵本の紹介冊子「親子でつくるココロの本棚」作成、並びに絵本講座開催事業

編集・発行：特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター
 〒573-0042
 大阪府枚方市村野西町5-1サフリ村野内
 TEL：072-805-3537 / FAX：072-805-3532
 Eメール：info@hirakatanpo-c.net
 http://www.hirakatanpo-c.net/